

中学部

区分 学年			単 一 学 級			重 複 学 級		
			1	2	3	1	2	3
各教科	必修教科	国 語	140 (35)	140 (35)	140 (35)	70 (70)	70 (70)	70 (70)
		社 会	35	35	35	0 (35)	0 (35)	0 (35)
		数 学	105 (35)	105 (35)	105 (35)	35 (70)	35 (70)	35 (70)
		理 科	35	35	35	0 (35)	0 (35)	0 (35)
		音 楽	70	70	70	70	70	70
		美 術	70	70	70	70	70	70
		保健体育	105	105	105	35	35	35
		職業・家庭	140 (35)	140 (35)	140 (35)	0 (140)	0 (140)	0 (140)
		外国語	35	35	35	0	0	0
	選択教科							
	道 徳 科		17 (18)	17 (18)	17 (18)	17 (18)	17 (18)	17 (18)
	特別活動	学級活動	35	35	35	35	35	35
	自立活動		18 (52)	18 (52)	18 (52)	193 (87)	193 (87)	193 (87)
合わせた指導	遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
	日常生活の指導	175	175	175	175	175	175	
	生活単元学習	0	0	0	140	140	140	
	作業学習	0	0	0	140	140	140	
総合的な学習の時間		70	70	70	70	70	70	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	30	30	30	
始業時刻 8時40分			終業時刻 14時55分					

教育課程編成上の留意点

- ・主体性や社会性を育て、基本的な生活習慣、基礎学力、体力の育成を重視することを考慮した教育課程を編成する。
- ・心身の発達や障害の実態等に応じた指導ができるようグループを編成し、学習を充実させる。
- ・キャリア教育の視点から、小学部の図画工作、生活単元学習等で培ってきたものづくりへの姿勢や体験を受けて、中学部の職業・家庭や作業学習を実施する。生活や働くことに対して興味・関心を持ちその基礎となる知識、技能、主体的に取り組む態度を養えるようグループ化し、学習内容を工夫して高等部へつなげる。
- ・高等部との連携を図るため、中高合同で進路学習等の時間を設ける。
- ・生徒が個々の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための自立活動の時間を確保し、内容を充実させる。

※表中（ ）内は「合わせた指導」に内包する時間数